

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,164	29.5	135	713.1	134	181.7	83	86.7
24年3月期第2四半期	1,670	△8.8	16	—	47	—	44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	24.55	23.66
24年3月期第2四半期	13.24	13.02

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,954	835	42.7	244.56
24年3月期	1,984	785	39.5	230.03

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 833百万円 24年3月期 783百万円

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	15.8	260	58.3	250	29.7	150	△22.4	44.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	3,408,000 株	24年3月期	17,040 株
----------	-------------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	3,408,000 株	24年3月期2Q	16,915 株
----------	-------------	----------	----------

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務危機を巡る不確実性の高まりや、中国をはじめとする新興国経済の減速、長期化する円高等による先行き懸念から、依然として不透明な状況で推移しました。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、顧客企業における広告宣伝投資、販促関連投資に一部復調の兆しが見られ、比較的順調に受注を獲得することができました。

当社の主要事業領域でありますFace to Faceマーケティング市場におきましては、企業の販促・プロモーション施策において、Face to Faceマーケティング手法への見直しの流れが徐々に表れ、力を入れ始める企業も増加してまいりました。

このような環境の中で当社は、Face to Faceマーケティングが行われる場をデザインする「点」のサポートから、集客やアフターフォローまで支援する「線」のサポート、そしてFace to Faceマーケティング市場における顧客企業のあらゆるセールス・プロモーションニーズに応える「面」のサポートへと、企業のマーケティングサポートをより手厚く行うことのできる企業へと成長すべく、取り組みを進めてまいりました。

出展サポートサービスにおきましては、従来からの強みである企画力、デザイン力をさらに強化すべく、提案品質の向上に取り組み、大型案件を中心に受注状況が好調に推移いたしました。また、競争力を高めシェアを拡大させるために、展示会等への出展における空間づくりだけでなく、会期中の運営・演出や、事前の集客サービス、事後の効果測定や来場者へのアフターフォロー等、出展効果を最大化するためのサービスの強化にも取り組んでまいりました。

主催サポートサービスにおきましては、従来から取り組んでいる合同展示会の事務局サポートやプライベートショーのトータルサポートにおいて品質を向上させ、新規顧客の獲得に注力してまいりました。

さらに、新商品・サービス創出への取り組みの一つとして、顧客企業のセミナーやカンファレンス等のマネジメント・サービスを専門に行う部署を新設し、新たなイベント分野の開拓と顧客ニーズの掘り起こしを開始いたしました。

一方、デザイン部門や制作部門におきましては、内製稼働率を向上させ生産性を高めるとともに、原価低減活動等も積極的に行い利益率の向上に一丸となって取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は21億64百万円(前年同四半期比29.5%増)、営業利益は1億35百万円(前年同四半期比713.1%増)、経常利益は1億34百万円(前年同四半期比181.7%増)、四半期純利益は83百万円(前年同四半期比86.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における財政状態は、資産合計19億54百万円(前事業年度末比1.5%減)、負債合計11億19百万円(前事業年度末比6.7%減)、純資産合計8億35百万円(前事業年度末比6.4%増)となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は16億95百万円(前事業年度末比22百万円減少)となりました。これは、受注残高が増加したことにより仕掛品が前事業年度末比20百万円増加したものの、売掛金が前事業年度末比51百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は2億58百万円(前事業年度末比7百万円減少)となりました。これは、減価償却が新規取得を上回ったこと等により有形固定資産が前事業年度末比4百万円及び無形固定資産が前事業年度末比2百万円それぞれ減少したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は7億85百万円(前事業年度末比55百万円減少)となりました。これは、未払法人税等が前事業年度末比21百万円増加したものの、買掛金が前事業年度末比51百万円及び未払金が前事業年度末比15百万円それぞれ減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は3億33百万円(前事業年度末比24百万円減少)となりました。これは、約定返済が新規借入を上回ったことにより長期借入金が前事業年度末比24百万円減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は8億35百万円(前事業年度末比49百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末比49百万円増加したことが主な要因となっております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ5百万円増加し、当第2四半期会計期間末には、7億94百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は67百万円(前年同四半期は16百万円の使用)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益1億34百万円や売上債権の減少額61百万円等が、仕入債務の減少額51百万円や法人税等の支払額35百万円を上回ったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9百万円(前年同四半期は6百万円の獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出10百万円や敷金及び保証金の差入による支出1百万円等が、敷金及び保証金の回収による収入2百万円を上回ったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円(前年同四半期は27百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出1億51百万円が、長期借入れによる収入1億30百万円を上回ったこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績が前回予想時に比して順調に推移したことに伴い、通期の業績も前回予想を上回ると見込まれることから、平成24年10月15日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から下記のとおり修正いたしました。

平成25年3月期通期業績予想数値の修正 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,600	230	220	132	38.73
今回修正予想(B)	4,600	260	250	150	44.01
増減額(B-A)	0	30	30	18	-
増減率(%)	0.0	13.0	13.6	13.6	-
(ご参考)前期実績	3,970	164	192	193	57.09

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ120千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,305	794,884
受取手形	43,278	33,390
売掛金	760,026	708,697
仕掛品	51,205	71,791
原材料及び貯蔵品	1,401	2,144
その他	83,739	94,490
貸倒引当金	10,735	9,969
流動資産合計	1,718,220	1,695,429
固定資産		
有形固定資産	155,383	150,698
無形固定資産	12,250	9,932
投資その他の資産		
その他	101,049	100,193
貸倒引当金	2,276	2,090
投資その他の資産合計	98,772	98,103
固定資産合計	266,406	258,734
資産合計	1,984,626	1,954,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,075	246,857
1年内返済予定の長期借入金	276,271	279,119
未払法人税等	38,732	60,405
賞与引当金	95,145	97,090
工事補償引当金	204	113
その他	132,318	101,661
流動負債合計	840,748	785,247
固定負債		
長期借入金	358,213	333,790
その他	470	-
固定負債合計	358,683	333,790
負債合計	1,199,432	1,119,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,203	158,203
資本剰余金	138,203	138,203
利益剰余金	487,428	537,017
株主資本合計	783,834	833,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	43
評価・換算差額等合計	119	43
新株予約権	1,240	1,658
純資産合計	785,194	835,126
負債純資産合計	1,984,626	1,954,164

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,670,753	2,164,394
売上原価	1,085,152	1,432,588
売上総利益	585,600	731,805
販売費及び一般管理費	568,930	596,261
営業利益	16,670	135,543
営業外収益		
受取利息	8	25
受取配当金	76	54
償却債権取立益	6,354	1,219
貸倒引当金戻入額	-	952
助成金収入	26,706	-
雑収入	3,963	1,796
営業外収益合計	37,110	4,047
営業外費用		
支払利息	5,833	4,250
雑損失	78	509
営業外費用合計	5,911	4,759
経常利益	47,868	134,831
特別損失		
固定資産除却損	663	-
特別損失合計	663	-
税引前四半期純利益	47,205	134,831
法人税、住民税及び事業税	2,396	50,817
法人税等調整額	-	344
法人税等合計	2,396	51,162
四半期純利益	44,808	83,669

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	47,205	134,831
減価償却費	19,209	14,207
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,586	952
賞与引当金の増減額(は減少)	10,076	1,945
工事補償引当金の増減額(は減少)	119	91
受取利息及び受取配当金	85	79
支払利息	5,833	4,250
固定資産除却損	663	-
売上債権の増減額(は増加)	45,300	61,216
たな卸資産の増減額(は増加)	11,832	21,328
仕入債務の増減額(は減少)	29,957	51,218
未払金の増減額(は減少)	8,216	11,873
未払費用の増減額(は減少)	2,576	2,074
その他	32,141	31,891
小計	9,825	101,089
利息及び配当金の受取額	85	79
利息の支払額	5,758	4,297
法人税等の支払額	809	35,100
法人税等の還付額	-	6,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,308	67,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,810	10,199
無形固定資産の取得による支出	224	227
投資有価証券の取得による支出	645	180
敷金及び保証金の差入による支出	2,184	1,489
敷金及び保証金の回収による収入	12,562	2,961
その他	137	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,561	9,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	130,000	130,000
長期借入金の返済による支出	156,818	151,575
株式の発行による収入	150	-
配当金の支払額	522	30,179
その他	746	1,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,936	53,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	37,683	5,579
現金及び現金同等物の期首残高	688,896	789,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	651,213	794,884

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

(2) 受注状況

前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	1,945,135	102.7	958,245	118.4
合計	1,945,135	102.7	958,245	118.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当第2四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	2,454,532	126.2	1,427,702	149.0
合計	2,454,532	126.2	1,427,702	149.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,670,753	91.2
合計(千円)	1,670,753	91.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	2,164,394	129.5
合計(千円)	2,164,394	129.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。